

元安チャールズ

企業訪問

(株)アンテック



瀬戸内市邑久町のオ
フィスで、末石建二社長
(44)がライターでタバ
コに火をともした。換気
扇横のセンサーが鋭く
反応し、ファンが勢いよ
く回りだす。

「世界でオ
ンリーワン」と胸を張る
「放火・火災検出センサ
ー」。5分離れた位置か
らでも瞬時に炎を感じ
する高い精度を誇る。
その秘密は紫外線の
データ処理技術。炎が発
する紫外線だけを感じ

思いを形にできる喜び

末石 建二社長

火をよく使う場所でも
誤作動なく使える。
こうした高い技術が

評価され、東京の大型デ
ーパークや愛知万博
の警備ロボットにも採
用されるなど売り上げ
を伸ばし、発売開始1年

で業界2位にまで成長
した。

末石社長は元医療機器
メーカー勤務。設計の仕
事に携わっていたが「こ
のまま一介の技術者で終
わっていいのか」と30歳
の時に独立を果たした。
「ベンチャーとは世にな
いものを作ること。市場
規模ゼロからのスタート
だったが、自分の思った

や炎の状態を認識し、割
り木を入れるタイミン
グや本数をすべてコン
ピューターが判断する。

自然が相手だけに当
初は試行錯誤の連続。学
習機能を搭載し過去の
データを次の作業に生
かせるよう工夫を凝ら
した結果、シェアは8割
まで達し「陶芸界で知ら
ない者はいない」と言わ

ことを形にできる喜びは
何物にも代え難い」と意
欲を燃やす。

1992年に所在地
が備前市に近かったこ
とから、備前焼を中心と
した窯焼き支援装置の
開発に着手。窯内の温度

れるほどに躍進を遂げ
た。

ここで培った技術が
センサーの開発に生き
た。今年7月には仏具販
売の中原三法堂と提携
し、仏壇専用の火災報知
センサーを発売した。取

引先にとってはセンサ
ーは自社商品の付加価
値につながるため、現在
では住宅メーカーなど
の各企業が先を争って
受注を競う状況だ。

従業員数は4人だが
「規模を大きくするつも
りはない。共に夢を追
かけてきた仲間と、これ
からも人にできない仕
事を続けたい」との言葉
に技術者としてのプラ
イドがのぞいた。

- 企業プロフィール
- 【創業】1991年
- 【所在地】瀬戸内市邑久町豆田116-3
- 【電話番号】0869-221155
- 【資本金】1千万円(97年法人化時)
- 【従業員数】4人
- 【年間売上高】8千万円(2005年4月期)

